



NO. 331

2021. 1. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会  
大阪市天王寺区東高津町12-10  
大阪市立社会福祉センターB1F  
発行責任者 小泉 いと子  
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623  
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>  
定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

令和3年を迎えて

理事長 小泉 いと子

新年あけましておめでとうございます。

2020年は、皆様とお会いする機会もなく、行事も実施することができずと、障がいのある子を持つ親にとっても、コロナ禍によって振り回された1年となりました。



新型コロナによる感染症は、昨年1月15日に初めて確認されて以降、12月時点で約22万人となり、春の「第1波」や夏の「第2波」、冬の「第3波」と、1年を通して収束せず、死者数は持病が悪化した人も含め3000人を越えました。

前回は申し上げたように手洗いやうがい、手指の消毒、マスクの着用など、健常の人なら当たり前に行っている感染対策であっても、私たちの子供は、なぜそれをしないとイケないかという意味を理解することが難しく、本人のこだわりや特性などから、それらを行うことが出来なかつたり、強制されたことでパニックを起こすなど、困難が伴います。

また、緊急事態宣言などによる外出自粛で、家にずっといなければならなくなっても、日々のルーティンとなっている行動をなかなか変えることが出来ず、家で親子二人きりの日々が続くなど、本人のストレスが溜まって、それを受け止める親もストレスがピークに達し、ゆとりのない状況から虐待につながるケースも報告されています。

新型コロナウイルスは、短い間に私達の生活を一変させ自粛生活が続いております。

引き続き「マスクの着用は、命を守る」を合言葉に、諦めずに継続して頂きますようによろしくお願いいたします。

2021年もコロナ禍が続く、国内の感染者数も増え続けているような状況ですが、誰かがやってくれるのを待つのではなく、自分たちで方法を模索し、事態を打開できるよう、親の会の皆様と手をつなぎ、共に進んで参りたいと思います。

そんな中、ISS(国際宇宙ステーション)で任務をされている野口聡一氏が、「大変苦悩な一年で耐えしのぎましたが、日はまた昇り、本当に地球は美しい」とおっしゃった言葉に、勇気と希望をいただきました。

2021年、不安も大きいですが、大阪市手をつなぐ育成会の皆さんの力を合わせ、力強く前進して参りましょう。

また、全日本手をつなぐ育成会連合会 又村常務理事より次のとおり情報提供(障がい者福祉サービス等報酬改定)を頂きましたのでご報告します。

令和3年度障がい福祉サービス等報酬改定については、福祉・介護職員の人材確保・処遇改善にも配慮しつつ、感染症等への対応力強化等を踏まえ、改定率は全体で+0.56%(国費86億円)とするともに、次のとおり対応する。

① 新型コロナウイルス感染症に対応するため、かかり増しの経費が必要となること等を踏まえ、令和3年9月末までの間、報酬に対する特例的な評価を行うこととし、上記+0.56のうち+0.05%相当分を確保する。

同年10月以降については、この措置を延期しないことを基本の想定としつつ、感染状況や地域における障害福祉サービス等の実態等を踏まえ、必要に応じ柔軟に対応する。